

のびのび



令和4年度校長室だより 7月 5日号

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～学び合い～

チャレンジ目標：湯田小ABC

少しずつもとの形に…

校長 藤井 智寛

最近、学校前の横断歩道で朝の交通指導をしていると、街路樹から蝉の声が聞こえてきます。いよいよ本格的な夏の到来といったところでしょうか。学校でも、3年ぶりにプールに入る子どもたちを見ると夏の訪れを感じます。しかし、以前のような歓声はプールからは聞こえません。マスクを付けていない水泳の時間は、極力おしゃべりを抑えるようにしています。互いが近い距離で向き合ったり、大声を出したりすることがないように、水泳時間のお楽しみ、自由時間もありません。これまで学年全体で行っていた水泳学習ですが、着替える際やプールの中での密を避けるため、2クラスでの学習にしています。これに伴い、以前は必ず教員が常に3～4名体制で授業をしていましたが、2クラスでは教員数も不足するので、見守りボランティアの方々の助けを借りながら水泳を行っています。



3年ぶりの水泳を楽しむ子どもたち



懇談会で学級の様子を説明しました

このように様々な配慮のもとではありますが、なんとか水泳学習を行い学校も本来の姿を取り戻しつつあります。そのほか6月には、これまで控えていた学校行事をいくつか再開しています。3年ぶりに行った学級懇談会もその1つです。当初は4月に予定していたものを6月に変更したため、保護者の方の参加がどうかと心配しましたが、多数の方にご参加いただき、担任の思いを伝え保護者の皆様との情報共有もできました。また学習でも、やはり3年ぶりですが2年生が1年生を案内しながら校舎内を回る学校探検も行うことができましたし、校区内を回る校外学習も2年生や3年生は出かけています。

このようにまだまだコロナ禍以前の形とは異なりますが、これからも徐々に学校での学びを本来の形に戻していきたいと考えています。